

年月日	25	10	01	ページ	24	NO.	
-----	----	----	----	-----	----	-----	--

先輩からのメッセージ

支えろ！ 産業



石井鐵工所

(長岡工業高等専門学校卒)

化

必要時に備え貯めるためのタンクを建設するときは、人々に安心を与えていかなければ入社後に気が付きました。今は興味がなくとも、つか興味を持つことがあるので、皆さんもいつか同じ目標を向け挑戦していただい

ます。例えば、タンク建設工事進捗の良否の判断指標作りでは、注視すべき点を考えました。実績から数値化されたデータがある一方で、背景にあるものを総合的に捉え、物事を正しく判断する時は感性が大切です。試行錯誤した高専での実験が感性を養い、思考の引き出しが増えた気がします。業務で多角的に物事を考えられるのは、当時の経験のおかげです。

経営戦略部

門田 将吾さん

高専の物質工学科卒業後、太学・大学院を経て当社に入社しました。街で見かけ、一見身近に見える身近ではないタンクという存在の建設にひかれました。

感性育んだ学生時代

入社後3年間、原油タンクの耐震

性向上工事の現場監督を経験しました。現在は経営戦略部で現場経験を生かし、工事に必要な人員や期間、費用などをデータ化、分析し、創業100年を超える当社の次の100年に向けた経営戦略立案に携わっています。

 株式会社 石井鐵工所
タンクひとすじ125年



“ためる”で
拓く

エネルギーの未来は、「ためる」技術から。
水素も、アンモニアも、LNGも、そして二酸化炭素も。
その力を社会へ届けるために欠かせないタンク。
タンクなくして、持続可能なエネルギー社会は実現できません。
石井鐵工所は、「ためる」技術で未来を拓きます。今も、これからも。

